

スマートフォンアクセサリーの販売動向 充電器の販売が急伸

GfK ジャパン(東京:中野区)は、家電量販店におけるスマートフォンアクセサリー※1の販売動向※2を発表した。

【概要】

- ・上半期のスマートフォンアクセサリー販売は数量ベースでは前年比1%減となるも、金額では同8%増
- ・縮小基調にあった充電器だが、「Pokémon GO」の配信開始週では販売数が前年の1.6倍に急伸

【高価格帯製品の伸びにより上半期は金額規模で拡大】

2016年上半年期(1-6月)の家電量販店におけるスマートフォンアクセサリー販売は、数量では前年比1%減となるも、レザータイプのケースや耐衝撃タイプの液晶保護フィルムといった高単価製品の拡大により、販売金額では8%増となった(図1)。カテゴリ別にみると、ケースは数量で前年並み、金額では前年比7%増、また、液晶保護フィルムは数量で同6%増、金額で同30%増と堅調であった。この一方で、モバイルチャージャーを含む充電器は数量前年比8%減、金額前年比5%減と縮小した。コネクタ形状が同じであればスマートフォン買い替え時に新たに充電器を買い替える必要が無いことやスマートフォン自体のバッテリー性能が向上していることが背景にある。

【直近週における充電器の販売が急伸】

厳しい状況にある充電器だが、直近では需要を喚起する明るい要素があった。「Pokémon GO」の配信開始である。配信が開始された7月22日以降販売が伸びており、直近週(7月18日～7月24日)の販売数量は前年の1.6倍、販売金額は1.9倍となった。充電器はAC電源、DC電源タイプを含む充電ケーブルと乾電池、ソーラー電池、リチウム充電電池タイプを含むモバイルチャージャーに分かれるが、特に外出先で使用しやすいリチウム充電電池タイプが数量前年比で2.5倍、金額前年比で2.8倍と大きく伸長した。バッテリー容量別に見ると、容量が大きい商品が人気を集めており、5,000mAh以上の数量構成比は前年同週から14%ポイント、前週から10%ポイント上昇し6割強を占めた。高価格帯製品の販売増により、充電器の平均価格は1週間で約2割上昇した。

※1. ケース、液晶保護フィルム、充電器(モバイルチャージャー、タブレット兼用)の計

※2. 全国の家電量販約4000店の販売実績を集計した調査に基づく

図1. スマートフォンアクセサリー 販売推移

(指数値:2015年上半年の全体=100とする)

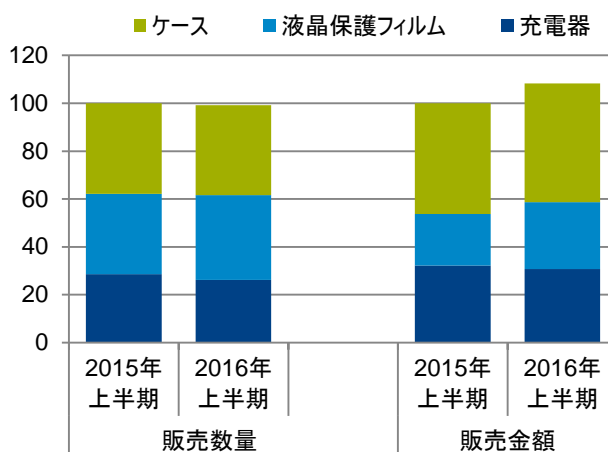


図2. 充電器 タイプ別販売数量推移

